

学会記事

【第14回総会】（2021年6月20日，出席者 会場参加18名，オンライン参加96名）

呉羽正昭庶務委員長の開会の辞のあと，コロナ禍でのハイブリッド開催という事情もあり，呉羽庶務委員長が議長を兼務すること，佐藤大輔庶務委員に書記を委嘱することについて会員から承認を得たのち，総会を開始した。

I. 2020年度会務報告について

松井圭介常任委員長より会員数（2021年6月1日現在，373名），第13回大会のオンライン開催（2020年12月6日 参加者82名），例会は新型コロナウイルス感染症のため未開催，機関誌「地理空間」第13巻1～3号の刊行，「地理空間」掲載論文のJ-Stage掲載，ニューズレター（第34号）の発行，ホームページおよびメーリングリスト（jags-ml）の運営，日本学術会議協力学術研究団体の認定（2013年9月24日から），および2021年度学会賞について報告があった。会務報告は異議なく承認された。

[地理空間学会学会賞]

〈特別賞〉

該当なし

〈学術賞〉

学術賞：市川康夫

受賞対象：

市川康夫『多機能化する農村のジレンマ - ポスト生産主義にみるフランス山村変容の地理学 -』
勁草書房，2020-01

学術賞：福井一喜

受賞対象：

福井一喜『自由の地域差 - ネット社会の自由と束縛の地理学 -』流通経済大学出版会，2020-01

学術賞：渡辺康代

受賞対象：

渡辺康代『近世城下町の付祭りの変化 - 伊賀国上野と下野国烏山を事例に -』海青社，2020-04

〈奨励賞〉

該当なし

II. 2020年度決算報告・監査報告について

山下亜紀郎会計委員長より2020年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され，その収支について村山祐司会計監査，山下清海会計監査より適正であると承認したことが報告された。2020年度決算案は異議なく承認された。

Ⅲ. 2021年度事業計画について

松井圭介常任委員長より2021年度事業計画について、「地理空間」第14巻1～3号の刊行，第14回大会の開催（2021年6月20日 つくば市），第15回大会の開催計画（2022年 場所未定），例会の開催，学会賞や若手研究者助成による研究奨励，ニューズレターの発行（発表要旨特別号の発行を含む），ホームページとメーリングリストの管理・運営が提案された。2021年度事業計画は異議なく承認された。

Ⅳ. 2021年度予算案について

山下亜紀郎会計委員長より2021年度予算案について，収入と支出に関する説明がなされた。2021年度予算案は異議なく承認された。

Ⅴ. 役員・専門委員会の構成について

松井圭介常任委員長より役員および専門委員会（2020年7月1日～2022年6月30日）の構成員について一部変更案について承認され，その他確認がなされた。

2020～2021年度役員（2020年7月1日～2022年6月30日）

会 長：高橋重雄（青山学院大学）

会 計 監 査：村山祐司（筑波大名誉），山下清海（立正大）

常 任 委 員：松井圭介（常任委員長，筑波大），呉羽正昭（庶務委員長，筑波大），山下亜紀郎（会計委員長，筑波大），森本健弘（集会委員長，筑波大），堤 純（編集委員長，筑波大）

評 議 員：秋山千亜紀（大東建託賃貸未来研究所・筑波大），池田真利子（筑波大），井田仁康（筑波大），伊藤徹哉（立正大），大島規江（茨城大），岡村 治（立正大），加賀美雅弘（東京学芸大），兼子 純（愛媛大），川瀬正樹（広島修道大），久保倫子（筑波大），呉羽正昭（筑波大），小林岳人（千葉高），篠原秀一（秋田大），杉本興運（東洋大），須山 聡（駒澤大），堤 純（筑波大），中西僚太郎（筑波大），中村周作（宮崎大），中村理恵（高崎女子高），仁平尊明（東京都立大），根田克彦（奈良教育大），平井 誠（神奈川大），藤永 豪（西南学院大），松井圭介（筑波大），丸山浩明（立教大），三木一彦（文教大），森本健弘（筑波大），山下亜紀郎（筑波大），山下宗利（佐賀大），吉田道代（和歌山大），若本啓子（宇都宮大） 31名

<専門委員会>

庶務委員会：呉羽正昭（委員長），秋山千亜紀（副委員長），佐藤大輔，鈴木修斗，中川紗智，橋爪孝介，吉沢 直

会計委員会：山下亜紀郎（委員長），久保倫子（副委員長），麻生紘平，薄井 晴，栗林 慶

集会委員会：森本健弘（委員長），遠藤貴美子，川添 航，小林飛文，坂本優紀，佐野浩彬，竹原蘭子，矢ヶ崎太洋

編集委員会：堤 純（委員長），須山 聡（副委員長），橋本暁子（副委員長），飯塚 遼，井口 梓，石井久生，磯野 巧，伊藤徹哉，大石貴之，片岡博美，久木元美琴，小島大輔，佐藤大祐，田中耕市，淡野

寧彦, 仁平尊明, 橋本 操, 林 琢也, 平井 誠, 福本 拓, 藤田和史, 本多広樹, 山本健太,
吉田道代

(書記) : 石井久美子, 岩井優祈, 宇野広樹, 松原咲樹

学会賞選考委員会 : (※2021年7月1日～2022年6月30日, 1年間)

井田仁康(委員長), 岩間信之, 中村周作, 仁平尊明, 横山 智

VI. その他(編集業務の効率化について)

堤編集委員長より, 編集業務の効率化について提案がなされた。初巻の刊行からこれまで, 博士後期課程の大学院生からボランティアとしての援助をうけながら編集事務を行ってきた。しかし, 近年では院生数の減少により, ボランティアに頼ることが限界に達している。そこで, 入稿前の原稿校正作業をプロの業者に委託することとし, その費用について, 1号と2号については通常の製作費の中から支出し, 3号については校正費用とPDF作成費を合わせた1ページ当たりの実費(約4,000～5,000円)を企画代表者(または著者)に請求することが提案された。これに関して, 2名の会員から, 学生会員の費用負担について, また, 3号の費用負担についての質問あった。いずれについても, 企画代表者(または著者)が負担するかたちである旨の説明があり, 提案は承認され, 14巻から適用されることになった。

以上で議事を終了し, 呉羽議長による書記と議長の解任が行われた後, 呉羽庶務委員長の閉会の辞をもって, 総会は終了した。

【大会報告】

第14回大会(2021年6月20日, つくば市イノベーションプラザにおける会場発表とオンライン(Zoom)会場とのハイブリッド形式での開催, 出席者: 会場参加18名, オンライン参加96名)

・一般発表

池田真利子*(筑波大)・高濱佑太郎(立教大・学): ベルリン市の観光街路における言語景観

柿沼由樹*(筑波大・院)・于 濰赫(筑波大・院)・大畠拓真(筑波大・院): シンガポールのチャイナタウンにおける言語景観の地理的分布

山下書子*(筑波大・院)・瞿 芳馨(筑波大・院)・熊谷美咲(筑波大・院): 台北市「大正町」エリアの言語景観にみる日本統治時代の歴史

松井 茜(筑波大・院): 軽井沢の言語景観にみる宣教師たちとその時代

廣部恒忠(明海大): 浦安市の土地利用や人口推移に着目したまちづくりについて

渡辺康代(帝塚山大・三重大学(非)): 「番条のお大師さん」にみる集落の持続性 - 奈良県大和郡山市番条八十八ヶ所詣りとその行事食に着目して -

岡田晃暉(筑波大・院): 港湾の新自由主義的再開発における場所感覚と表象 - イギリス・サルフォードを事例に -

大島規江(茨城大): 島崎藤村『夜明け前』の地理学的一考察 - 近世頹落期における木曾の庄屋 -

田林 明 (筑波大・名誉) : 日本の農業地域区分に関する研究動向

・会長講演

高橋重雄 (青山学院大) : 隣接科学における地理学の有用性 : 経済学分野における個人的体験

・巡検

未定

【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL : <http://jags.ne.jp/>

【編集委員会からのお知らせ】

2021年4月～2021年9月 : 未受理原稿および左記期間に投稿された5本の原稿について閲読結果をもとに検討した結果, 「展望」1編, 「リサーチ・ペーパー」1編, 「地理資料」1編を受理した。

【編集委員会からの J-Stage 公開のお知らせ】

機関誌『地理空間』の Web 上での公開方法が変更になりました。「論説」や「リサーチ・ペーパー」などの論文はすべて J-Stage 上 (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>) で公開することになりました。なお, 次号の掲載までの「最新号」については, 各論文の要旨のみ地理空間学会ホームページ上 (<http://jags.ne.jp/>) で公開し, 最新号の刊行と同時に, 前号の全文を J-Stage 上で公開いたします。なお, 書評や学会記事, 例会要旨などについては, 引き続き, 本学会ホームページ上でのみ公開いたします。

【次号以降の投稿について】

第15巻1号は, 2022年6月20日の発行を予定しております。第15巻1号の原稿については随時受け付けておりますが, 第15巻1号に掲載されるには, 2022年3月末までに受理が出ている必要があります。内容は最新の論争から時事性, トピック性の高いテーマ, 丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために, 会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして, 会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には, 編集委員会 (geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp) までお知らせください。

【オンライン版 (電子版) の3号の刊行について】

2016年度総会において, 現行の年2号の紙媒体での印刷・発行に加え, オンライン版 (電子版) の3号 (年度末発行) を新たに発行することが決まり, すでに9巻3号 (2017年3月), 10巻3号 (2018年3月), 11巻3号 (2019年3月), 12巻3号 (2020年3月), 13巻3号 (2021年3月) を刊行しました (<https://jags.ne.jp/>)

archives/2072)。オンライン版（電子版）の3号の概要は以下の通りです。

- ・シンポジウム報告を含む特集論文は、各巻3号に掲載する。
- ・特集論文の企画代表者は学会員に限る。ただし、各論文の著者については、会員か非会員かは問わない。
- ・特集論文の企画は、毎年度9月末日までに企画代表者が事務局（編集委員会）へ申し出る。
- ・企画代表者は、編集委員会にゲストエディターとして加わり、当該特集論文の査読・編集に携わる。
- ・特集論文の掲載・発行にかかる実費相当額（校正費用とPDF作成費を合わせた1ページ当たりの実費：約4,000～5,000円）は、企画代表者（または論文の著者）が負担する。
- ・各巻3号は、発行後速やかにJ-Stage上（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jags/-char/ja>）で公開する。紙媒体の1, 2号は、これまで発行から半年後に学会HPで公開していたが、これを変更し次号発行時に学会HPで公開する。すなわち、各巻1号は2号発行時、2号は3号発行時に学会HPで公開する。
- ・3号の印刷物（有償）を希望する会員は、個別に事務局へ相談する。

【投稿規程 & 執筆要項】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL : <http://jags.ne.jp/>

【新入会員】（2021年5月21日～2021年11月15日）

黒澤俊平（筑波大・院）

佐々木悠理（筑波大・院）

（会員数：373名、2021年11月15日現在）